

停電でも情報収集

前田道路

前田道路は、東京都品川区の本
店と全国の11支店で、地震発生時
の初動対応力を高めるための全国
BCP訓練を一齐に実施した。震
度6強の地震発生を想定した訓練
で、本店に災害対策本部を立ち上
げた後、社員と家族の安否確認を
携帯電話で確認するとともに、災
害協定を結んでいる組織団体と災
害復旧対応の協力会社とスムーズ
な連携が取れるよう訓練した。
訓練では、2層の津波発生も想

本店でのBCP訓練



定し、避難場所・経路・距離を各
拠点のハザードマップを基に確認
した。停電対応についても訓練し、
蓄電池とガス発電機を稼働させて
テレビ・ラジオ・パソコンなどの
通信機器につなげて情報収集に備
えたほか、合材工場では大型発電
機を稼働させ、災害時も迅速なア
スファルト合材供給が可能である
ことを確認した。

災害対策本部長の今泉保彦社長
は「当社は交通インフラ整備の重
要な役割を担っている。訓練を通

じ、今後の体制強化に向け、非常
時に役立ててほしい。被災した支
店に対する救援物資・機材を迅速
に支援できる体制も再確認してほ
しい」と訓示した。

東京支店で訓練の指揮を執った
下田雅樹支店長は「これまでの訓
練もあり、各項目でおおむね速や
かな対応ができた。今後も支店管
内で予告なしに訓練を実施して機
器の取り扱いなどの練度を高める
とともに、日ごろからの防災意識
を高めて実際の災害時に円滑な対
応ができるようにしていく」と担
当者へ呼び掛けた。